

事業所名

パンダキッズ兵庫

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

2月

27日

法人（事業所）理念	パンダキッズに関わる子どもたちが中心に輝かしい未来を創造します。子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、最善の利益を大切にします。福祉で「最高の笑顔」を届けます。地域、社会から必要とされる組織を目指します。							
支援方針	療育を通じて子どもたちと共に成長するいつも「最高の笑顔」で取り組みます。すべての事に「感謝の念」を持ち取り組みます。社会の役に立つことを第一に考え取り組みます。自分が源という姿勢を忘れず取り組みます。自ら学び子どもたちと成長する療育に取り組みます。							
営業時間	8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・目標：日々のルーティンを理解し、身の回りのことを「自分でやろう」とする。 ・支援内容：着替えの際、「次はズボンだよ」と声をかけながら、足を通しやすいよう裾を広げて待つ（部分介助）。手洗いの手順をイラスト（視覚支援）で示し、完了の目安を伝える。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・目標：体の使い方を学び、感覚の偏りによる不安を軽減する。 ・支援内容：サーキット遊び（トンネル、平均台、マット）を取り入れ、体幹を鍛えながら自分の体のサイズ感を掴む。大きな音が苦手な場合、イヤーマフの準備や、事前に「今から大きな音が鳴るよ」という予告を行う。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・目標：見通しを持って行動し、活動の切り替えがスムーズにできる。 ・支援内容：「写真カード」や「絵カード」を使い、一日の流れを視覚化する。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・目標：自分の気持ち（要求や拒否）を、言葉やジェスチャーで相手に伝える。 ・支援内容：おやつや玩具をあえて手の届かない（見える）場所に置き、「とって」「貸して」という発話を促す環境を作る。クレーン現象（大人の手を使う）が出た際は、「『手伝って』だね」と正しい表現を代弁して見せる。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・目標：保育者や友達存在を意識し、同じ空間で安心して過ごす。 ・支援内容：並行遊び（同じ場所で別々の遊びをする）から始め、徐々に「順番こ」や「貸し借り」のルールを小集団の中で練習する。友達とのトラブルの際は、双方の気持ちを代弁し、適切な解決方法（「ごめんね」「いいよ」）を教える。 						
家族支援	毎日の送迎で保育士が添乗し日々の活動でのお子様の様子や新たに出来るようになった事の報告を欠かさず行います。また参観日を設けてお子様の事業所での活動の様子を見る機会を設けています。	移行支援	・必要に応じて、幼稚園やこども園とで合同連絡会を持ち移行後の変化を情報交換しています。					
地域支援・地域連携	・ご利用者の移行支援により通うようになった認定こども園や幼稚園との情報交換等での連携を持っています。	職員の質の向上	・同法人の児童発達支援事業4事業所が定期的連絡会を開催し各事業所の取り組みを紹介してもらい新しい支援方法や個別支援計画書作成の為に情報交換をしています。					
主な行事等	・避難訓練（事業継続計画（BCP））に基づき実施しています。また安全計画に基づき定期的に研修、実践を行っています。							